

## 第4回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：平成24年12月20日（木）午前10時00分～

場所：中井町役場 3階 3A会議室

### 【会議次第】

- 1 開 会
- 2 報告事項  
(1) 中井町オンデマンドバス実証実験へ向けてこれまでの取組み状況等について（資料1）
- 3 協議事項  
(1) 中井町オンデマンドバスの愛称の決定について（資料2）  
(2) 中井町地域公共交通総合連携計画（素案）について（資料3）
- 4 その他  
(1) 中井町オンデマンドバス実証運行開始式典について
- 5 閉 会

### 【報告事項の議事概要】

- (1) 中井町オンデマンドバス実証実験へ向けてこれまでの取組み状況等について（資料1）

事務局より資料1の説明

会 長：何か具体的に変わった所などありますか。

事 務 局：基本的には会議で決まった内容について周知していますので、特にはありません。愛称については、実証運行に先行して進めさせていただきました。

会 長：乗降ポイントは、各集落のどこかにあるイメージですか。

事 務 局：そうです。乗降ポイントについて、自治会長さんへの説明会の時間も取らせて頂く予定です。実証運行で検討させて頂いて、乗降ポイントを変更させて頂くこともあるという様にお伝えしています。

委 員：利用者登録が、現在350人という事ですが、事務局の予想からするとどうなのですか。

事 務 局：利用登録していただかないと利用できないので、1,000人くらいを目標にしたいと思っています。利用者ガイドのように内容を理解していただけるものを再度広報で全戸配布する予定です。また、福祉施設の利用者と話す機会もあるので、利用ガイドを作り上げたいうえで、周知をしていきたいと思っています。

委 員：今後、改善に向けての調査なども行うと思いますが、母数が少ないといけないと思うので、もう少し増えると良いですね。

委 員：登録について、用紙とインターネットの比率はどのくらいですか。また、高齢者などは電話登録できると良いと思います。

事 務 局：電話での利用登録は行っていません。感覚では、用紙が6割インターネット4割くらいかと思っています。

委 員：高齢者が多いと思うので、もっと優しい登録ができると良いと思います。

事 務 局：わかりやすいガイド等を持って、説明に行き、その場で登録できる様な場を増やしていきたいと思っています。

委 員：1,000人くらいは必要なのではないでしょうか。努力すべきだと思います。

- 委員：どの地区からの登録が多いかも調べることができると良いと思います。
- 事務局：登録の中間地点では、特に空白地域の方が多いというわけではなかったです。年齢層は65歳以上の方が多く、地域に出向いて行って、説明会を行った自治体では、登録が多かったので、今後も出向いて行って、不明な所を解決すれば利用者登録も増えると思います。
- 委員：空白地域に出向いた方が良いと思います。
- 事務局：情報提供する物の作成に時間がかかったので、運行が始まってからも出向いて行って、登録していただけるように勤めていきます。
- 委員：利用する時に困ると思い、一応登録している人と、本当に利用したくて登録している人の比率はわかりますか。それぞれの意味が違うと思います。利用するつもりが無い人は、細かく出向いたりしないと登録に繋がらないのではないかと思います。
- 事務局：自治会長さんからそのような声を頂いているので、集まり等に出向いて行きたいと思っています。また、実証運行の傾向で把握できればと思います。来年度も走らせる予定ですので、広く周知して、乗る機会を増やしていきたいです。
- 会長：隣の秦野市でも登録した方の1割が使っていて、その方達も毎日ではなく、月に数回となっていますので、1,000人くらい登録していただきたいです。高齢者で免許を持っていない、外出はできる方の7割くらいは登録していただくという感覚です。
- 委員：チラシなどで、「オンデマンドバス」という言葉だけで説明しているように思います。みなさん利用していただく中で、「乗合いバス」のような表現があるべきだと思うのですが。
- 事務局：今説明できる言葉は、「オンデマンドバス」という言葉しかないので、親しみのある名前をつけるという事で、愛称を募集しました。愛称が決まれば、どういう乗り物かと合わせて説明できると思います。細かい文字では書いてあるのですが、確かに「オンデマンドバス」だと何かわからない方もいました。
- 会長：説明を色々な所で行って、補っていただきたいと思います。

#### 【協議事項の議事概要】

##### (1) 中井町オンデマンドバスの愛称の決定について（資料2）

事務局より資料2の説明

事務局：一般に募集した愛称の中から、委員の皆様を選んでいただいた愛称を集計し、会議の最後に上位5つくらいでご議論いただきたいと思います。

##### (2) 中井町地域公共交通総合連携計画（素案）について（資料3）

事務局より資料3の説明

委員：P. 47の周辺市町村というのは、秦野市や二宮町等の事ですか。

事務局：そうです。中井町的生活圏は二宮駅、秦野駅ですので二宮町、秦野市、バス路線でいうと小田原市等の周辺市町との調整が必要であると思います。

委員：生活圏と行政区域が相反しているので、バランスを上手く保っていかなければいけないと思います。

事務局：既存の検討組織で前に進めるようにしていきたいです。

委員：中井町の総合交通連携計画はいつまでに策定しなければいけないという決まり等はあるのですか。計画を見ると実証実験が終わっても走らせるようですが、事業1では廃止も含むと書いてありますが、事業2、事業3ではオンデマンドバスという言葉も出てきているの

で、もしなくなった場合はどうなるのですか。そもそもの目的は民間のバス路線で公共交通を構築していこうというものであったと思います。これが崩れ去った場合はどうなるのでしょうか。

事務局：連携計画は25年の3月を目指して策定していく予定です。廃止や見直しという言葉がありますが、基本スタンスは、利便性を高めながら町民に根付くような交通手段にしていきたいと思っています。

会長：指摘にある様に、表記は気になる場所です。オンデマンドバスの形を変えてみることはあると思いますが、やり方を変えたりする場合に、この種の交通はやっていくという決意表明はあると思います。それが、誤解されないようになっていけばいいと思います。

事務局：素案という事でも出させて頂きました。実証運行が終わったら終わりなのかという所もありますし、今回のご意見も踏まえてもう少し内容の検討をしていきたいと思っています。第5回でもご意見いただき、見直していきたいと思っています。

委員：検討の期間はどのくらいを考えているのですか。ある程度の期間をやらないとダメだと思います。

事務局：ある程度の動向を踏まえてみるには、長期的な時間が必要だと思います。実証運行で行くのか、本格運行で行くのか、しっかりしたデータをまとめるには数年が必要だと思っています。

会長：次回が最終案ということです。

#### (1) 中井町オンデマンドバスの愛称の決定について（資料2）

事務局：集計結果、「しらさぎ号」34点、「中井ふれあいバス」22点、「中井きらめき号」19点、「なかちゃん号」17点、「美・緑なかい号」17点、「なかよし号」16点という結果になりました。なお、「しらさぎ号」は他の自治体のコミュニティバスの名称となっておりますので、その他でご議論頂きたいと思っています。

会長：町内にもう走っている名前なのですか。

事務局：福祉有償のサービスが「しらさぎ」という名称となっております。

会長：利用者も混乱するかと思いますので、「しらさぎ号」以外でご議論頂きたいと思っています

委員：利用者は高齢者が多いのであれば、ひらがなでわかりやすい方が良いでしょう。「中井ふれあいバス」が良いと思います。

会長：原案どおりに、「中井ふれあいバス」を協議会では押すという事でよろしいですか。

－ 承認 －

事務局：運行開始式典を1月10日10時から役場の駐車場で開催します。ご都合つく方は、ご参加いただければと思います。

次回の会議は3月下旬を予定しております。日程の詳細は後日ご連絡させていただきますので、よろしく願い致します。以上を持ちまして、本日の会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

○出席委員：中井町自治会連合会会長 小林 敏男  
境地区バス利用対策委員長 桜井 岑生  
一般公募委員 廣澤 瀧男  
東洋大学国際地域学部教授 岡村 敏之  
関東運輸局神奈川運輸支局首席運輸企画専門官 中澤 延夫  
神奈川県県土整備局環境共生都市部交通企画課主査 (代理) 久保田 貢  
神奈川県県西土木事務所長 河原 正幸  
神奈川県松田警察署交通課長 (代理) 橋本 和彦  
神奈川中央交通(株)運輸計画部長 三木 健明  
神奈川県タクシー協会小田原支部 鈴木 要  
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 川上 一男  
中井町副町長 早野 茂  
中井町地域支援課長 曾我 裕之  
中井町福祉課長 金子 豊  
中井町まち整備課長 加藤 幸一郎  
中井町老人クラブ連合会長 小清水 正臣  
中井町社会福祉協議会長 植木 年男  
中井町商工振興会長 加藤 正人  
中井町PTA連絡会長 小宮 邦俊  
グリーンテクなかい企業連絡協議会長 久保田一宏

事務局：中井町3名

その他：傍聴人4名